

# 目 錄

封面題字：筑波大學藝術系教授 菅野智明

## 海外研修－「東日本美術行旅：展覽 x 美術館 x 文創」成果發表

### 序 文

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 台北駐日經濟文化代表處<br>謝長廷 代表 .....     | 2 |
| 國立臺灣藝術大學書畫藝術學系<br>劉素真 副教授 ..... | 3 |
| 日本國立筑波大學藝術學系<br>仏山輝美 教授 .....   | 4 |
| 関彰商事株式會社<br>関正樹 社長 .....        | 5 |

### 海外研修交流展

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 日本筑波大學 Art & Design ..... | 6  |
| 日本関彰商事スタジオ'S 展覽廳 .....    | 7  |
| 國立臺灣藝術大學美術大樓實習畫廊 .....    | 8  |
| 活動摘要 .....                | 9  |
| 活動宗旨與目的及計畫籌備情形 .....      | 10 |
| 活動紀實 .....                | 17 |
| 量化指標與質化指標 .....           | 23 |
| 海外研修心得 .....              | 25 |

### 展出作品

|                |    |
|----------------|----|
| 賀琛博、劉美玲 .....  | 28 |
| 吳奇軒、林子超 .....  | 29 |
| 楊子逸、吳肅珂 .....  | 30 |
| 陳曉勳、趙基任 .....  | 31 |
| 陳柔岑、廖大華 .....  | 32 |
| 毛子芸、羅筱娟 .....  | 33 |
| 李羿慧、李宛真 .....  | 34 |
| 陳正治、呂瑞香 .....  | 35 |
| 李宜芮、張彩杏 .....  | 36 |
| 姚淑芳、李昱瑩 .....  | 37 |
| 林碧麗、廖燕秋 .....  | 38 |
| 簡廷宇、李依恬 .....  | 39 |
| 郭懿嫻、劉正發 .....  | 40 |
| 林佳諭、張峰銘 .....  | 41 |
| 周明翰、林欣緯 .....  | 42 |
| 林秋香、鍾享諭 .....  | 43 |
| 吳岱錦、張維元 .....  | 44 |
| 林育正、周謝佳錦 ..... | 45 |
| 海外研修活動集錦 ..... | 46 |

このたびは、スタジオ' S with T 企画

「国立台湾芸術大学 × 筑波大学芸術交流展」の開催、誠におめでとうございます。

筑波大学・関彰商事の皆様を始め、ご来場の皆様に心からお祝いと感謝を申し上げます。

台湾にとり日本は、近い隣国であり、親しみがあるととても重要なパートナーであります。

両国は、共に地震や台風などの自然災害が頻発する点でも共通しています。

これまで1999年の台湾中部大地震、2011年の東日本大震災、今年2月の台湾南部地震、そして今回の熊本地震と、双方は互いに助け合う関係を築き上げてきました。この関係は双方の国民感情が友好的である具体的な表れといえます。

また、修学旅行や学校交流など台日間の学生交流も盛んになっています。若い人たちの交流は未来の台日友好関係の安定的な発展に極めて重要です。

国際交流協定校である筑波大学と国立台湾芸術大学は、交換留学等を通じて常日頃から交流が盛んに行われていると伺います。このたび、両校の学生達の作品展示交流展が行われますことは、まさに台日友好関係の象徴といえるでしょう。

互いの国で学んだ学生らの文化芸術の交流こそ意義があります。台湾と日本が互いに交流を深め、皆様が台湾芸術を愛し書画作品に関心をお寄せくださることに、深い敬意と心からの感謝の意を表します。

平成29年10月



台北駐日経済文化代表処

代表 谢长廷

# ご挨拶

## 「芸術・移動」 台湾芸術大学 × 筑波大学芸術交流展に寄せて

「移動」は最も成效の文化交流形式、也是藝術生命成長茁壯の必然途徑。台湾芸術大学與筑波大学締結交流協定以來，從一年期的交換留學生，碩士生到博士生，人數及學程層級與日俱增，此外不定期的短期展出與交流從未間斷，這樣以「人」為單位的移動學習，是最直接、最深刻的，對留學生而言不單單是技法表現的擴展，更重要的是在地的風土人情，文化早已無聲無息、默默地，深深地潛移默化走入藝術創作者的生命底蘊。

本次兩校的展覽交流，則是藉由「作品」移動，營造了兩校學子的相互對話機會，使交流發揮最大的實際效益，參與的作家透過作品以及面對面的接觸對談，除了體會各自的藝術表現特質之外，進一步理解異國的藝術發展脈絡，相互激勵，共創藝術發展的未來可能性。同時有機會移師到筑波大學關係企業「関彰商事株式会社スタジオ'S」展出，發揮藝術回饋社會之正向價值，透過「藝術 × 移動」促進雙方和諧與緊密關係，實為相互學習，成長的寶貴經驗。

國立臺灣藝術大學 書畫藝術學系 副教授 劉素真

「移動」は、効果が最も顕著に表れる交流の形であり、芸術の生命力を成長させる手立てである。台湾芸術大学と筑波大学の交流協定が締結して以来、1年間を期限とする交換留学生制度で、学年問わず学部から修士・博士の学生を対象として筑波大学に派遣し、作品展示や交流は一度も止まることなく留学生数は徐々に増え続けてきた。このように「人」を単位とした移動である日本への留学は、最も直接的に物事を深く学ぶ方法である。留学生達は、単に技法や表現についての広がりを得るのではなく、更に日本の風土、そしてそこに住む人々の人情など、日本文化に知らないうちに深く感化され、芸術家としての糧を心に蓄えるのである。

今回の交流展は、「作品」の移動を通して両校の学生のコミュニケーションの場を設け、芸術の交流を行うものである。出品者達は、お互いの作品を見て、実際に作者と直接会話を交わすことによって、それぞれの作品を鑑賞するとともに異国の芸術の特色を理解することができる。このように互いに刺激を与え合い、励まし合った結果、若き制作者達は、今後の芸術発展と未来の目標を確かなものにするだろう。最後に、筑波大学と連携する関彰商事株式会社の「スタジオ'S」で展示することは、芸術と社会の交流であり、社会貢献の一環としてとても有意義である。また、「芸術・移動」の活動を通して、両校・両国の密接な関係を深める貴重な機会である。

平成 29 年 10 月

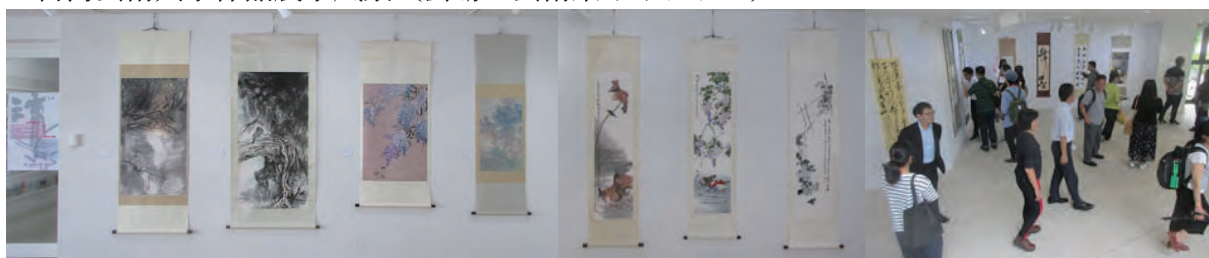
国立台湾芸術大学 書画芸術学専攻 准教授 劉素真

## 「台湾芸術大学 × 筑波大学 芸術交流展」について

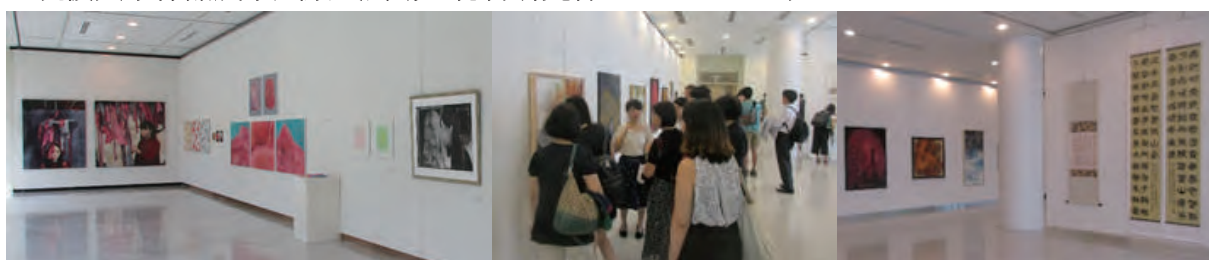
本展は、筑波大学アートストリートで開催した「台湾芸術大学 × 筑波大学 芸術交流展」(会期：平成 29 年 8 月 29 日～9 月 8 日)の巡回展です。同展では、台湾芸術大学書画芸術学系の学生作品 38 点ならびに筑波大学洋画・日本画・版画・書研究室の学生作品 36 点を発表しました。

### — 芸術交流展の様子 —

#### ■台湾芸術大学作品展示風景（会場：芸術系ギャラリー）



#### ■筑波大学作品展示風景（会場：総合研究棟D ギャラリー）



■会期中、9 月 5 日に台湾芸術大学の劉素真先生と学生（出品者）38 名が来学し、筑波大学の学生や教員との交流を深めました。



スタジオ' S 開催の本展は、台湾芸術大学の全作品 38 点と交流協定による台日留学生の作品 6 点を展示します。台湾芸術大学の作品は二期に分けて展示します(展示替えは 17 日)ので、どうぞお見逃しなく。



筑波大学芸術系社会貢献推進室

筑波大学芸術系教授

弘山 輝美

## 芸術活動支援事業「スタジオ' S with T」

このたびは、「スタジオ' S (スタジオएस)」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

筑波大学芸術系と弊社関彰商事との芸術活動支援事業「スタジオ' S with T」は、「**CONNECT(コネクト)・関(かかわる)・繋(つながる)・波(はきゅうする)**」をコンセプトに、個人(学生)、企業、大学、地域が繋がり、波及的に広がっていくという願いを込め、昨年5月より活動をスタート致しました。

この活動は、茨城県文化振興条例に則り弊社が筑波大学芸術系の学生の活動の場として「スタジオ' S」を提供し、企業・大学・地域が連携し筑波大学生の芸術活動を支援しながら運営しております。

今後も関彰商事は、筑波大学とともに、学生が社会(地域)に触れながら学び、才能ある若者の制作活動等を支援して参ります。

関彰商事株式会社

代表取締役社長

関 正樹

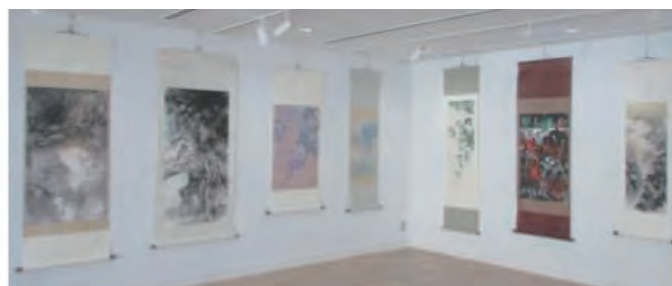
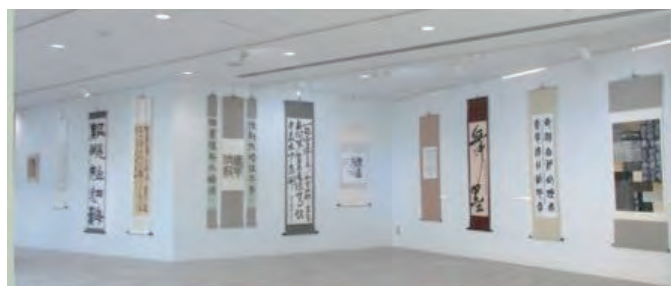
### <活動の様子>



### <ロゴマークについて>



ロゴマーク文字を支える筑波大学の「T」と関彰商事の「S」は1本の線で繋がり、互いの関係性を表しています。





スタジオ'Swith T企画

# 台湾芸術大学 × 筑波大学 芸術交流展

国立台湾芸術大学書画芸術学系の学生ならびに  
同大学と筑波大学芸術の交流協定による台日留学生の作品展

平成29年10月11日(水)～24日(火)  
10:00～16:00 ※11日は供養祭のため休館

会場：スタジオ'S  
つくば市二の宮1-23-6 国際商事株式会社つくばマヤス教習所併設  
アクセス：つくばセンター(つくば駅)4番乗り場より  
「ひたち野うしく駅行き」バスに乗車  
「二の宮三丁目バス停」下車し、徒歩3分  
自働車では、つくば駅より徒歩5分  
(全神土銀販売「AORI」直営店隣) 徒歩1分(大通りから) 徒歩1分

主催：国際商事株式会社、国立台湾芸術大学書画芸術学系、筑波大学芸術系  
協力：台北駐日経済文化代表処


筑波大学 ×

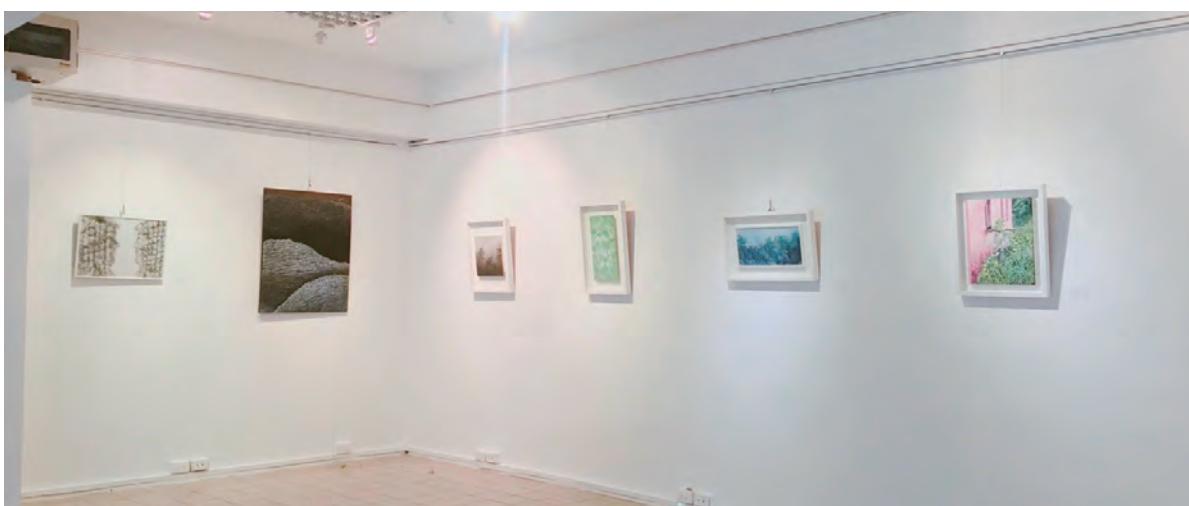
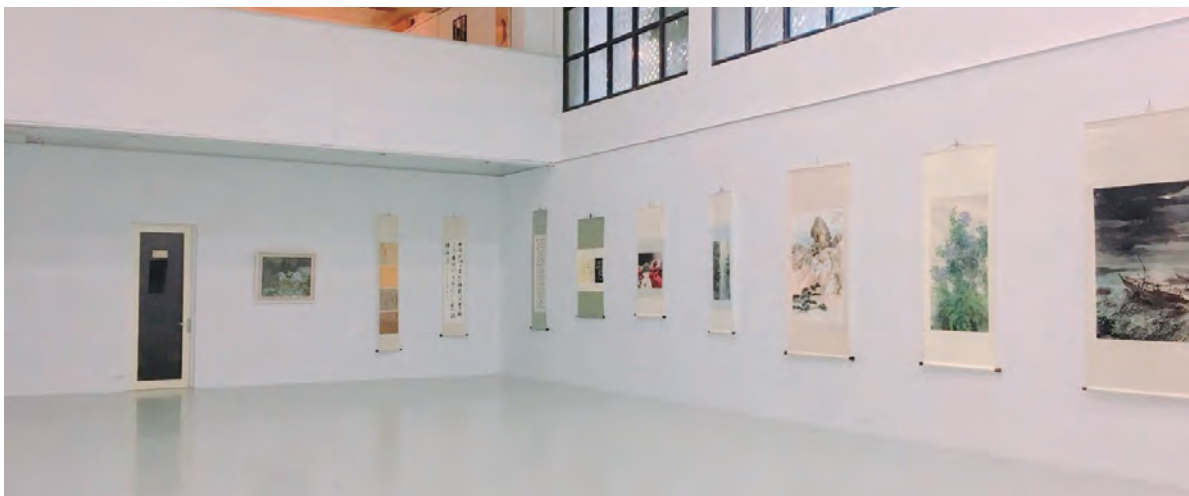





## ◆ 関彰商事スタジオ'S 展覧廳



◆國立臺灣藝術大學 美術大樓 實習畫廊



# 東日本美術行旅活動成果報告



## 摘要

書畫藝術學系長期與大東文化大學、筑波大學締結友好交流，除近年來大東文化大學河野隆教授客座指導、仙山輝美教授蒞臨指導外，更有日本書道藝術協會、膠彩畫會在臺展覽交流。

藉海外研修課程，予學生深度實地體會藝術文化在地發展與多元文化交流變遷的影響，並認識日本繪畫材料之表現與文化創意產業的互動關係，進一步思考應用藝術創作、文創商品之競合關聯，激發更多創作表現的可能。

本次展覽交流，歷時三個月行前安排，督促參與學子研究考察日本文化、藝術、歷史背景與亞洲藝術脈絡。以「展覽 X 美術館 X 文創」為行程主軸，特別於筑波大學舉辦兩校作品展會，經由交流展覽，兩校間學生的對話、研究討論，借鏡其藝術教育、研究精神與發展理念，反思如何使藝術發揮最大的價值，並能積極走入生活，落實美感展現，提升對社會藝術文化薰陶培養之正向價值。

主辦本次交流研習活動，進一步相互激勵藝術發展的可能，加深日本與我方在藝術面的和諧與緊密關係，更促成本次筑波大學關係企業企劃展，實為相互學習、成長的寶貴經驗。

## 一、活動宗旨與目的

海外研修課程規劃為本校教學特色之一，鼓勵師生走出校園實地與國際接軌為計畫標的，故本年度延續辦理赴海外研習、研究、考察等境外研習課程。本系與國際學校或文化單位交流次數逐年頻繁，除了發展與推廣臺灣藝術特色和精神外，對於國際藝術事，例如藝術史最新發掘或當代創新藝術之動向皆是關注的對象。自 2012 年以來，海外研修課程曾遠赴日本東京藝術大學、大東文化大學；2013 年赴中國上海博物館、登黃山；2014 年赴中國天津美術學院、北京故宮博物館；2015 年赴敦煌莫高窟、榆林窟、西千佛洞等進行海外教學計畫；2016 年規劃絲路石窟藝術紀行(新疆-西安)，進一步對石窟壁畫之造形、色彩、歷史等深入研究學習。

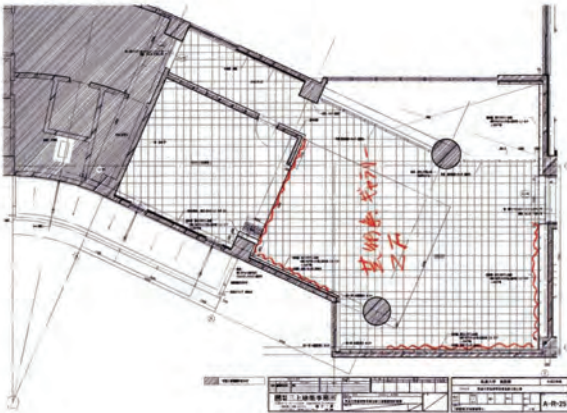
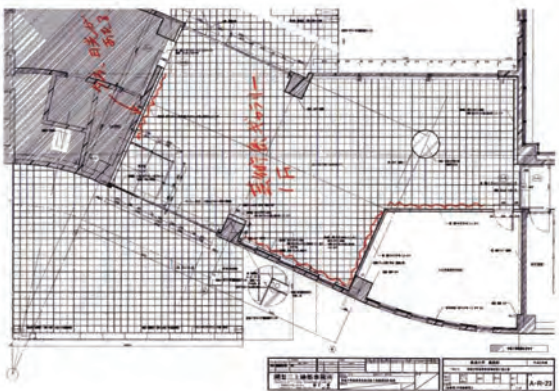
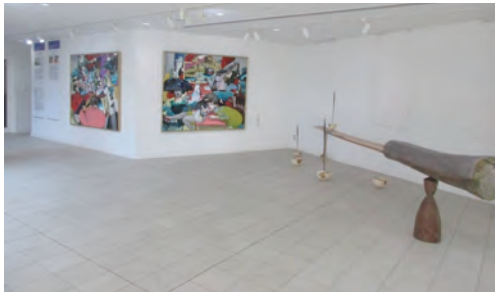
同時，自 2004 至 2016 年之間與日本大東文化大學、南京藝術學院等姊妹校方於本系進行書畫藝術課程產學合作計畫，對於國際藝術教育之交流發展不遺餘力成效顯著。校外研習交流帶領學生踏出校園圍牆實踐豐富教學內容，引領學生境外研習，使學生能與各國學子分享交流所學並學習主動認識迎接挑戰。將原本被動的吸收學習轉向主動蒐集資料、整理預將研究的對象，並於抵達現場時進行參照對比與目擊記錄。有異於被動式學習與想像式理解，這是一種從對研究對象的資料掌握到自我發現問題，進而實際尋求解答的自發性學習。讓學生親身真實地接觸不同文化環境或探索古代美術內容。除了讓學生產生對於臺灣藝術的自信，並深入思考未來的發展，以達成美術學院訂定的「培養學生開闊的國際視野與人生觀」之自我定位。

## 二、計畫籌備情形

### (一) 辦理單位

- 國立臺灣藝術大學美術學院書畫藝術學系  
National Taiwan University of Art, Department of Painting and Calligraphy Art
- 國立筑波大學藝術系  
University of Tsukuba Art and Design

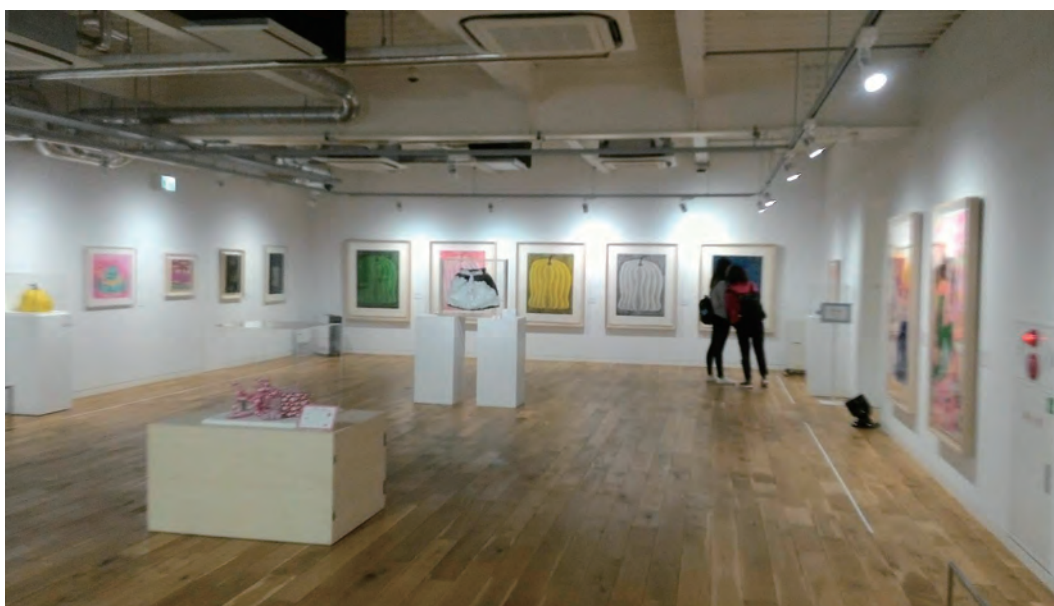
(二) 課程時間及地點

|                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>筑波大學藝術棟展覽廳</p> <p>現場展覽佈置實務</p> | <div></div> <div></div> |
| <p>9月5日筑波大學訪問</p>                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

藤城清治美術館



輕井沢現代美術館



山種美術館



東京藝術大學参访



### (三) 任務編組

|    | 任務編組                 | 姓名     | 備註                       |
|----|----------------------|--------|--------------------------|
| 1  | 上野東京都美術館：波士頓至寶特展     | 吳奇軒    | 除行前資料蒐集，亦須包含到場參觀實記       |
|    |                      | 林子超    |                          |
| 2  | 上野東京都美術館：杉戶洋展        | 吳岱錦    | * 二人一組，行前資料考察及行程中記實，編列成冊 |
|    |                      | 李宛真    |                          |
| 3  | 上野森之美術館              | 李依恬    |                          |
|    |                      | 林佳諭    |                          |
| 4  | 太田紀念美術館：月岡芳年・月百姿特展   | 劉正發    |                          |
|    |                      | 張彩杏    |                          |
|    |                      | 陳正治    |                          |
| 5  | 山種美術館：上村松園 — 美人画の精華  | 林碧麗    |                          |
|    |                      | 吳肅珂    |                          |
| 6  | 東京藝術大學大學美術館 (文創商品考察) | 簡廷宇    | 楊子逸                      |
|    |                      | 陳柔岑    |                          |
| 7  | 筑波大學 (展覽實記)          | 周明翰    | 趙基任                      |
|    |                      | 李羿慧    |                          |
| 8  | 輕井澤現代美術館             | 毛子芸    |                          |
|    |                      | 姚淑芳    |                          |
| 9  | 那須・相田光男 (ホテルサンバレー那須) | 賀琛博    | 書法                       |
|    |                      | 劉美玲    |                          |
| 10 | 那須・藤城清治美術館           | 鍾享諭    |                          |
|    |                      | 李宜芮    |                          |
| 11 | 那須・錯視藝術體驗館           | 陳曉勳    |                          |
|    |                      | 郭懿嫻    |                          |
| 12 | 輕井澤千住博美術館            | 呂瑞香    |                          |
|    |                      | 廖燕秋    |                          |
| 13 | 日光東照宮                | 林秋香    | 自然\人文景觀                  |
|    |                      | 羅筱娟    |                          |
| 14 | 白絲瀑布                 | 張峰銘    | 自然景觀                     |
|    |                      | 廖大華    |                          |
| 15 | 鬼押出園                 | 周謝佳錦   | 自然景觀                     |
|    |                      | 林欣緯    |                          |
| 16 | 鬼怒川・龍王峽              | 李昱瑩    | 自然景觀                     |
|    |                      | 林育正    |                          |
| *  | 海外研修歸國心得             | 全體參與同學 |                          |

### 三、活動紀實

海外研修課程規劃為本校教學特色之一，鼓勵師生走出校園實地與國際接軌為計畫標的，故本年度延續辦理赴海外研習、研究、考察等境外研習課程。本系與國際學校或文化單位交流次數

#### (一) 參加對象及人數、國家數

| 職稱              | 姓名                                                                                                                                                    | 工作內容                              |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 書畫藝術學系<br>專任副教授 | 劉素真                                                                                                                                                   | 計畫主持人暨海外研修任課教師<br>(碩士班、博士班、在職碩士班) |
| 參與人員            | 楊子逸、林佳諭、鍾享諭、李宜芮、<br>周明翰、吳岱錦、林欣緯、陳柔岑、<br>簡廷宇、李羿慧、劉美玲、李宛真、<br>林子超、陳曉勳、郭懿嫻、趙基任、<br>周謝佳錦、李依恬、張維元、吳奇軒、<br>賀琛博、羅筱娟、林碧麗、吳肅珂、<br>林秋香、呂瑞香、張峰銘、廖大華、<br>廖燕秋、李昱瑩。 |                                   |

#### (二) 國際課程內容及課程表

##### 1. 東與西、古與今藝術家作品面對面：

上野東京都美術館「美國波士頓美術館至寶特展」，比較古典東方的埃及雕塑藝術、中國宋代繪畫與日本美術傑作，如：喜多川歌麿、蕭白、英一蝶等，到西方 20 世紀後現代美術的梵谷，及其後近現代藝術脈絡發展。浮世繪經典名作賞析，參訪各大美術館，如：山種美術館 50 周年特別展「上村松園 — 美人画の精華」；輕井澤現代美術館，認識 20 世紀以來活躍於海內外藝術家，從藤田嗣治、草間彌生到奈良美智等日本藝術家，了解如何以自身文化經驗融會西潮觀念思想。藉以觀察東、西洋藝術風貌古今不同表現面向與發展可能。

## ◆ 東京都美術館：波士頓至寶特展

比較古典東方埃塑藝術、中國宋代繪畫與日本美術傑作，如：喜多川歌麿、蕭白、英一蝶等，同時也展出西方 20 世紀後現代美術梵谷，及其後近現代藝術脈絡發展。

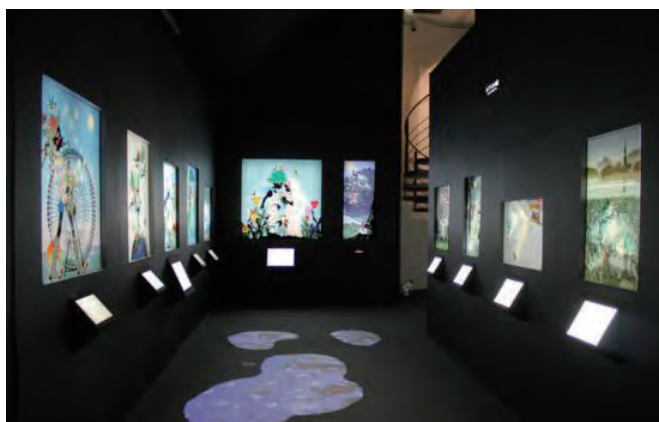
## ◆ 杉戶洋展



樹木、房子、窗簾等單純的意象搭配上幾何圖形。纖細又充滿節奏感的色彩律動。來往於抽象與具象之間的杉戶洋(1970-)，其作品不斷擄獲了國內外的眾多觀者。本次為杉戶洋首次於東京的美術館舉辦個展。在由具有前川國男建築獨特質感的牆壁與地板所構成、位於地下的寬敞挑高的畫廊空間裡，敬請期待在此處與杉戶洋的最新作品相遇。

## ◆ 藤城清治美術館

藤城清治 (Seiji Fujishiro 1924) 年出生於日本東京，他用剪刀或刀片把透光玻璃紙剪成各種形狀，拼貼成不同題材的畫作，透過燈光的照射，呈現出驚人的剪影效果。通過豐富的想像力創造出一個充滿童真的、天馬行空般的奇幻世界。



時 30 分～19 時 30 分（ご入館は 18 時 30 分まで）

## ◆ 錯視藝術體驗館



## 2. 日本美術館與環境融合的借景美學：

親臨千住博美術館，體會前衛建築空間與輕井澤的自然景觀相合的視覺美學；開放式的大片落地窗，光線灑落結合藝術家千住博的作品，使觀者能感受一種全新的美學體驗、勇氣與生命的氣息，再思考、發現獨一無二的自己。並體驗藤城清治美術館「光與影」迷幻世界「借景」手法創作上的表現形式。日本獨特的環境融合精緻美學，提出對環境、觀者、創作三者關係的思考與哲學啟發。



### ◆ 井沢現代美術館展出「海を渡った画家たち」

出展作家 蠟嘔、イサムノグチ、猪熊弦一郎、今井俊満、草間彌生、佐藤敬、白髪一雄、関根伸夫、田淵安一、堂本尚郎、奈良美智、藤田嗣治、松谷武判、村上隆、ロッキアヤコ



親臨千住博美術館，體會前衛建築空間與輕井澤的自然景觀相合的視覺美學；開放式的大片落地窗，和煦溫柔光線灑落，結合藝術家千住博的知性，使觀者感受全新的美學、勇氣與生命的氣息，再思考、發現獨一無二的自己。

### 3. 透過寫生體驗異國的自然、人文景觀：

走訪日光東照宮認識日本文化歷史發展；東照宮是德川家康的家靈廟之一，其華麗的建築以白色、黑色與金色搭配營造富麗堂皇的效果。鬼押出園觀賞火山劇烈爆發所形成遍地石獅子岩及親子岩等天然岩石藝術景觀，如今被列為世界3大奇景之一。並安排白糸の滝、龍王峽瀑布之山川寫生景點。觀察龍王峽三種色彩的峽谷地理景觀與白絲瀑布地下伏流的特殊景象



白絲瀑布



鬼押出園



日光東照宮



龍王峽

#### 4. 從藝術原創到文創商品的進程考察：

實地參訪筑波大學與東京藝術大學「藝大アートプラザ」館，深度了解日本文化創意產業原創價值，觀察教職員、學生創作思考的開展進一步學習其作品展示、販賣等文創發展模式；借鏡其藝術教育、研究成果商品化的企劃與發展方式，反思如何使藝術發揮最大的價值，並能積極走入生活，落實美感展現，提升對社會藝術文化薰陶培養之正向價值。

#### 5. 日本國立東京藝術大學、筑波大學參訪與作品展覽：

參訪國立東京藝術大學大學美術館、筑波大學美術館。其中於大學美術館探索了解日本明治時代工藝美術在漆工、金工、彫刻等多彩作品魅力，深入分析早期工藝品至今影響的各種面向。



特別在筑波大學參訪行程中，舉辦為期一周的交流展覽，於8月28日至9月5日展出，並於訪問當日進行交流活動。除了提升學生展覽實務策劃能力與國際展出經驗，同時拓展多元視野。



金開堂、得応軒、華陽堂、喜屋

## 四、量化指標與質化指標

### (一) 量化指標

#### 1. 增加本系國際交流經驗與視野

赴海外進行國際教學觀摩與學習，計有：

|                |                                                                  |     |
|----------------|------------------------------------------------------------------|-----|
| 參觀美術館<br>及研究機構 | 藤城清治美術館、輕井澤千住博美術館、輕井澤現代美術館、山種美術館、上野東京都美術館、大學美術館、錯視藝術體驗館、相田光男美術館。 | 8 館 |
| 學術單位           | 筑波大學、東京藝術大學。                                                     | 2 校 |
| 寫生地點           | 下鄉町、白絲瀑布、鬼押出園、鬼怒川龍王峽、塔之峩。                                        | 5 處 |
| 地理景觀           | 鬼押出園火成岩地質、白絲瀑布地下伏流、龍王峽谷景觀。                                       | 3 處 |
| 書畫材料           | 金開堂、得應軒、華陽堂(岩繪具)、喜屋(筆)。                                          | 4 間 |

#### 2. 返國舉辦創作展覽

完成行程返國後，以各種不同表現形式創作作品一件，並於美術大樓舉行展覽一週。

#### 3. 印製圖文成果專輯

每位學員返國後繳交一份心得報告，並經由老師與同學票選較優秀文章與寫生創作作品刊印於《大觀書畫》記錄可貴的學習經歷，擴大宣傳與共享國際視野教學成果。

#### 4. 寫生課程時數：



地點：塔之峩 時間：2 小時



地點：下鄉町 時間：2 小時



地點：龍王峽 時間：2 小時



地點：白絲瀑布 時間：2 小時



地點：鬼押出園 時間：2 小時

### (一) 質化指標

1. 國際交流參訪，增進筑波大學、東京藝術大學與本校鏈結。
2. 考察借鏡筑波大學、東京藝術大學及美術館文創產業發展。
3. 學習歷程：東洋繪畫材料學、藝術學及日本美術文化學習。
4. 創作成果：作品的多元面貌呈現，延伸在日第二展覽機會。

| 台湾芸術大学書画芸術系の学生ならびに同大学と筑波大学<br>芸術の交流協定による台日留学生の作品展 |                                           |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 展期                                                | 2017 年 10 月 11 日（三）～ 10 月 24 日（二）         |
| 展場                                                | 茨城県つくば市二の宮 1－23－6（関彰商事株式会社<br>つくば本社 敷地隣接） |
| 主辦                                                | 関彰商事株式會社、國立臺灣藝術大學書畫藝術學系、<br>筑波大學藝術系       |
| 協辦                                                | 臺北駐日經濟文化代表處                               |

## 五、研修心得分享

當我們對於眼前觀看得一切感到麻木的時候，創作的眼睛就會關上。對於許多人而言，臺灣的風景大概說不上是美的，或者必須極力的尋找才能夠有所發現，在石川欽一郎眼中的台北卻是如此的多彩與可人。石川眼中的台北或許跟我們眼中的日本有所相似之處吧。

我們所期待青年學習者的，與其說是巧妙地完成的作品，不如說更希望是努力研究而有些困惑的作品。

石川欽一郎認為藝術的創作不應該是僅僅技巧上的熟練，而是對於未知的好奇，他認為，臺灣富有南國旺盛的生命力這是日本島內所缺乏的，但是生長在台灣的我們，卻似乎更嚮往著北國的風情。龍王峽，鬼怒川，碧綠的水泉與白黃色的岩壁相應生輝，水聲潺潺令人想起了奧萬大的景致，臺灣其實不乏珍貴驚豔的自然景觀，缺少的似乎真的只是願意停下的眼睛與探索的童心。

在筑波大學時我感受到的是對於藝術創作本身滿滿的熱愛與熱忱，那是一種對於創作這件事的信仰，同時也是一個生活的態度，「各種組合展現出來的樣貌是非常有趣的」大學院生佐藤小姐這樣跟我說，我也的確的發現在創作中，總是眼高手低，卻忘記了實驗或嘗試的過程產生的美好體驗。

從海外研修出發前的行前安排與工作分配，到回來之後的展出成果分享，除了必須感謝劉老師的用心安排之外，更要謝謝同學們之間的互相協助與配合，才能讓這次的研修活動，從頭到尾，都有著圓滿的結果。

林育正 撰

抵達日本就先前往日本筑波大學參觀，在眾展廳間與筑波大學的師生交流，筑波大的校園很大到處都有美麗的植物可以寫生，日本的季節很分明，植物的顏色很多變，到了當地之後才更能體會為什麼膠彩畫的顏色可以這麼豐富，因為他們所見如此。

在這五天的行程中參觀了許多的美術館，如相田美術館、山種美術館等…，第一個抵達的美術館是那須錯視體驗館，在裡面體會到了眼見不一定為憑，大腦與視知覺其實很容易被欺騙，體驗了各種錯視及障眼法覺得十分有趣。

其中千住博美術館及藤誠清治美術館最讓我驚豔，千住博老師作品的氣氛處理很好，親眼看見作品真的很興奮，不僅被畫幅的尺寸震撼到，也能夠看見許多畫冊無法呈現的細節；藤誠清治先生的作品是剪紙與光影的藝術，前期的作品是以黑白呈現，那精緻的造型也是讓我甘拜下風，後期則開始出現各種絢爛的色彩，其中光影與投射之間的距離表現出的模糊地帶十分自然，讓我不禁想起水墨氣韻難得可貴的地方也是在於這種虛實之間。

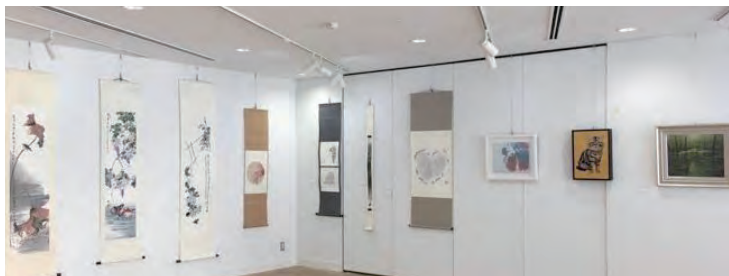
除了美術館也拜訪了如大內宿、塔のへつり、東照宮、白絲瀑布等景點，在塔のへつり和鬼押出園看見了不同的地質型態，參觀日光東照宮時可以看得出日本人對於文化遺產保存的嚴謹態度，在東照宮的入口有一條小徑，兩旁的樹非常高聳，日本雖然很乾但也很常起霧，霧濛濛的景象美不勝收，回國就將這場景與印象畫下來作為成果展的作品，此趟海外研修之旅不僅在美景的眼界開闊、繪畫的經驗與技法亦是身心靈的成長都有十分的收穫。

郭懿嫻 撰

此次的海外研修行程豐富而充實，以下將分為參訪學校、美術館實地走訪學習、遊覽風景勝地一一簡要說明：

### （一）、參訪學校

此次研修旅行參訪了筑波大學與東京藝術大學，除了參觀其校園環境以及與兩校師生交流以外，在行前也與筑波大學合辦了一場展覽（圖一）（圖二），展出內容包含繪畫、書法等領域的創作；在對談、交流的過程中，兩校學生各自分享理念與提出相關問題，是一場輕鬆愜意卻飽含質量的合作經驗。而參訪東京藝術大學時碰巧遇見東京藝術大學的「藝術祭」，校園中隨處可見各藝術領域的作品以及相關活動，也參觀了在學學生的展覽與傑出校友們的展覽，在看展的同時總是會和自己本身做連結，反思在不同文化下的創作是以何種樣態表現，兩者之間所存在的差異點有哪些是自己不足可以再努力的？抑或是自身有哪些優勢？這些思考過程是我在參訪兩所日本大學時所獲得最多的相關經驗，或許有些不足不是現階段所能馬上補足的，但這些省思過程對於自己未來的創作是個很好的開端。



（圖一）筑波大學聯展之展場實景



（圖二）與劉素真教授合照紀念



（圖三）東京藝術大學藝術祭

### （二）、美術館實地走訪

由於整個研修行程安排很多美術館，在此僅簡述錯視體驗館與山種美術館；關於錯視體驗館，利用各種錯視原理設計了許多的圖像和景觀，除了可以親身體驗以外，在旁也有工作人員詳細說明，在參與拍照的過程中亦可以發揮各種創意，拍攝出趣味感十足的相片（圖四）。

在山種美術館展出了相當多十分經典的日本畫，其中，能親眼見到上村松園的作品是一件很幸運的事，能夠親臨現場看見她在畫面經營上的堅持令我十分感動，更對於她的繪畫技法有滿滿的敬佩。



（圖四）錯視體驗館拍攝

### （三）、風景勝地

此行除了參訪大學及美術館以外，也安排了很多美麗的風景勝地，體驗不同文化的薰染、在大自然的環抱中徹底讓自己進行一場充電之旅，放寬心讓自己吸收不同文化資訊、看不同的風景。雖只有短短五天的旅程，但旅行確實會讓人把眼界放更寬一些、看待事物更加柔軟些，很感激能有這次的研修課程，於我而言是特殊且深具成長意味的一趟旅行。

陳曉勳 撰

## 前言

非常欣喜能夠有機會能參加此次的研習參訪；隨著地球村的概念，各個國家之間的學術交流越來越盛行，年輕學子在此氛圍下皆能依據自己的趣向選擇出國交換學習或短期研習交流，此次適逢劉素貞教授舉辦日本筑波大學的藝術交流與東京藝術大學參訪和精選數個美術館及自然風景的參觀。此次參訪心得如下：

### 一、筑波大學與東京大學

兩所日本著名的藝術大學，卻有著兩種截然不同的風情；筑波大學就想被森林環抱一般，處處可見不同的樹木與植栽，校園內充滿的芬多精及清爽的微風，讓藝術創作在大自然的環顧下能有不同的感受；東京大學身處比較市區的位置，周圍的綠色樹木雖多但不像筑波大學被環抱一樣，參訪時適逢東京大學的藝術祭，卻也能看出雖然校園不是非常廣闊，但學生彼此間非常熱情，好像我們台藝大一樣。

### 二、美術館參觀

五天四夜的行程確實有點趕，因為每間美術館實在都讓人流連忘返，雖然在出國前劉教授對各美術館都有約略解說，但是在現場的感受卻還是非常震撼，藤城清治美術館的光影視覺效果震撼著我的眼球、相田美術館中平易近人的作品讓我低語呢喃、千住博美術館的優雅令我彷彿置身山林、山種美術館的美人圖真的會讓人目不轉睛、錯視藝術體驗館就像回到小時候玩的不亦樂乎、…等，這五天的行程絕對值回票價。

### 三、自然風景盡收眼底

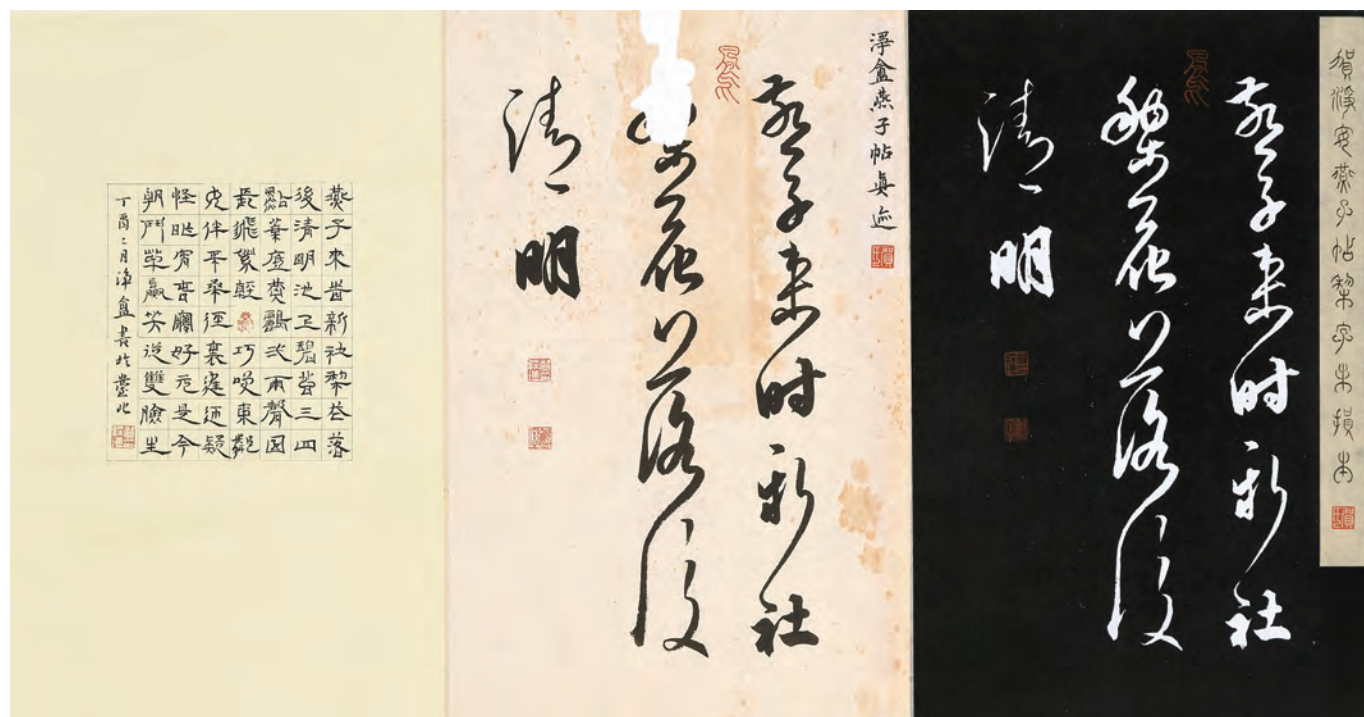
美術館的人為藝術搭配大自然的景觀欣賞真是絕配；「大內宿」日式街道讓我彷彿置身在江戶時代，厚重的屋頂、高聳的廣播鐵塔、清澈的溪流；「白絲瀑布」與台灣的十分瀑布相較之下多了一分寧靜與淨逸，能輕易放鬆身心；「塔之林」特殊的河蝕地形經過常年的風化作用形成柱狀型態，非常壯觀；「日光東照宮」裡的龍鳴，真是令我大開眼界；「鬼押出園」的熔岩怪時真是讓我大開眼界，各式奇形怪狀的樣態，果然奇觀…等等，真的是視覺饗宴。

## 結語

這次的日本參訪一位難求，還好我們是書畫專業優先考慮的名單，否則就要錯過一次千載難逢的好機會；除了吸收當前日本繪畫的精華更欣賞到過往的藝術精湛工藝；再加上自然景觀的視覺衝擊，真的是一次文化的深度旅遊；感謝學校與劉教授能提供此次研習活動，也勉勵自己充電完備，再次出發創作。

張峰銘 撰

## 2017 海外研修成果特輯 海外研修交流展作品



日碩書畫 賀琛博 〈行書小品〉



日碩書畫 劉美玲 〈洗心〉



日碩書畫 吳奇軒 〈相遇〉



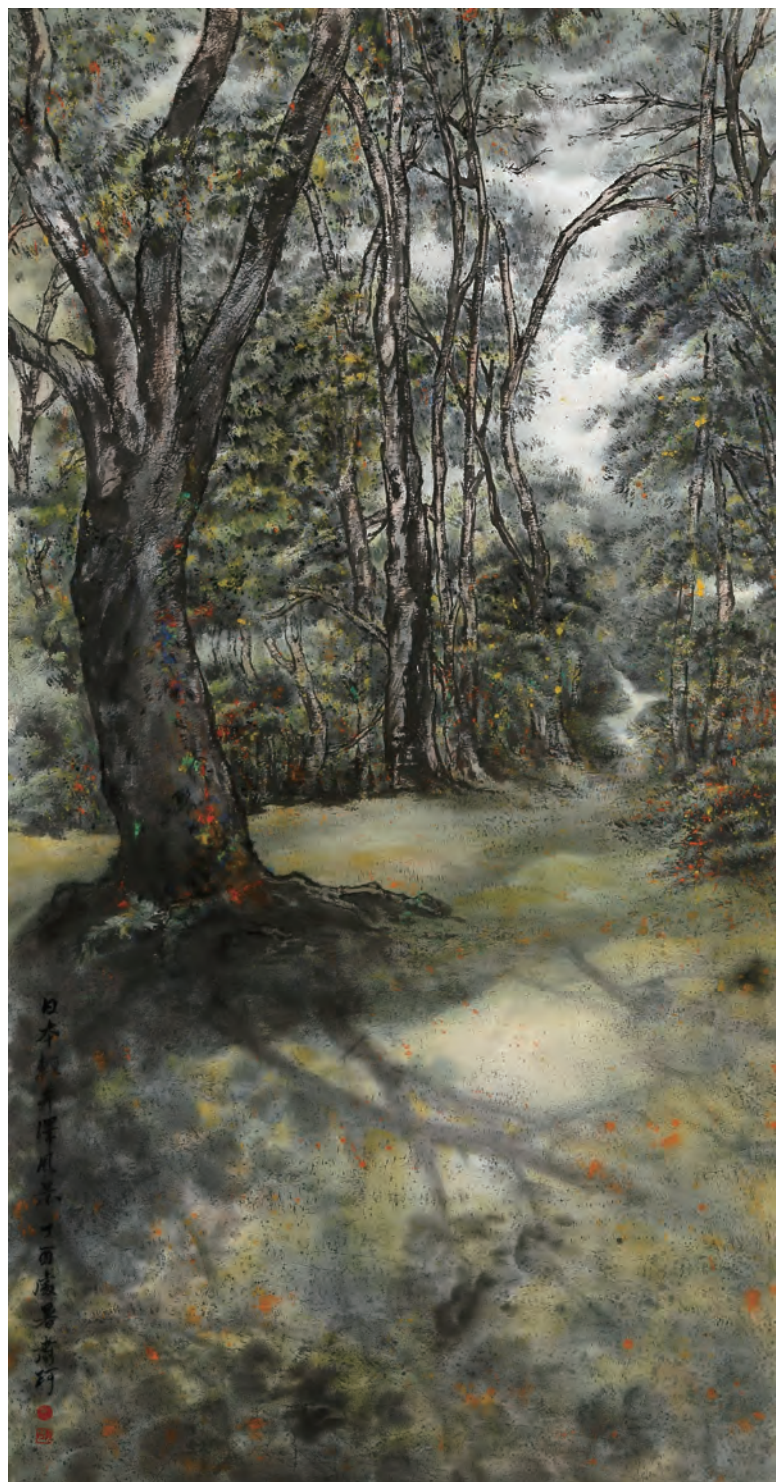
日碩書畫 林子超 〈一縷〉

曉華桂烟百香色晚妝深翠柳  
 平沙長條別乃含泣多又紫映錢  
 植菰心爰

歲進歲移丁酉菊月楊子逸



日碩書畫 楊子逸 〈詠懷〉



職碩書畫 吳肅珂 〈日本輕井澤風景〉



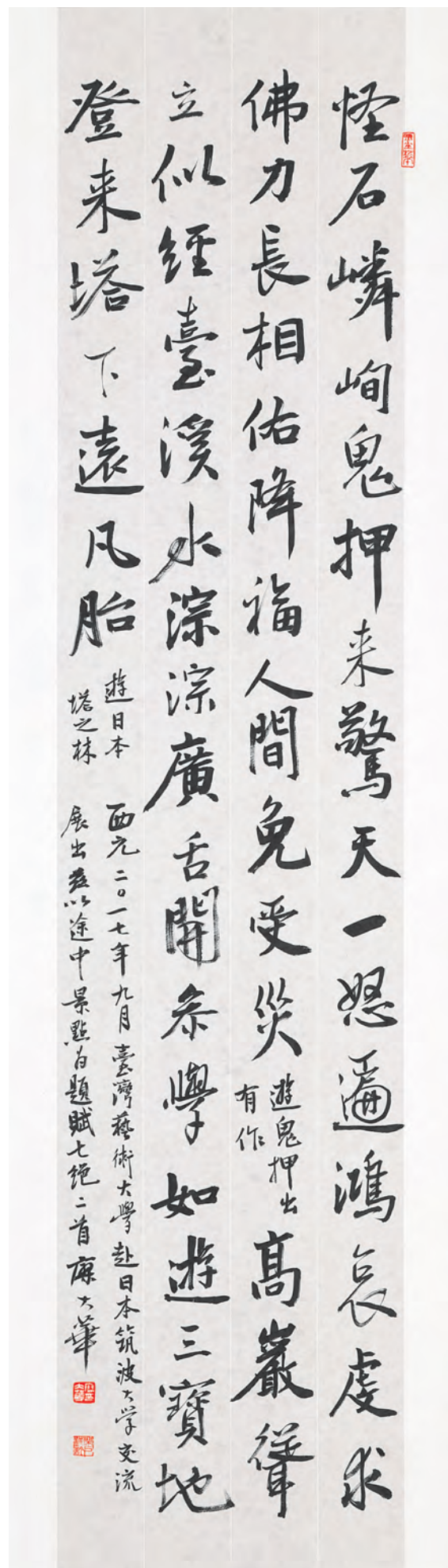
日碩書畫 陳曉勳 〈空氣中的水氣帶我散步〉



日碩造形 趙基任 〈凝〉



日碩造形 陳柔岑 〈忘憂〉



職碩書畫 廖大華 〈遊鬼押出、塔之林詩各乙首〉



職碩書畫 毛子芸 〈銘〉



職碩書畫 羅筱娟 〈生機〉



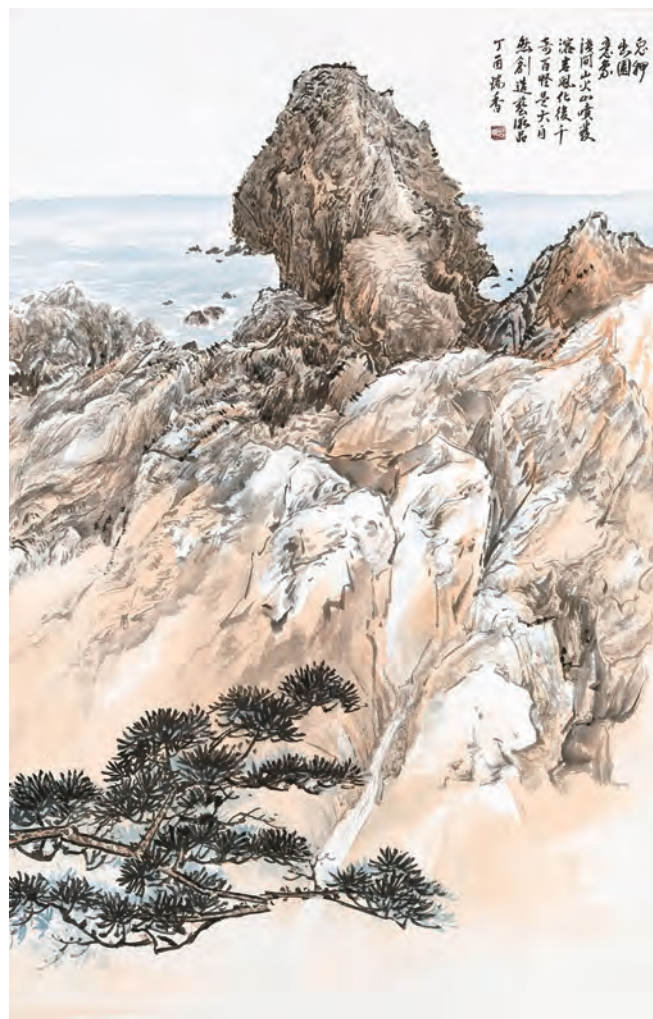
日碩書畫 李宛真 〈知足〉



日碩書畫 李羿慧 〈純淨〉



日碩書畫 陳正治 〈寬永寺雪霽〉



職碩書畫 呂瑞香 〈鬼押出園意象〉



日碩書畫 李宜芮 〈初見大內宿之所念〉



職碩書畫 張彩杏 〈詩情畫意〉





職碩書畫 林碧麗 〈鬼押出の龍膽〉



職碩書畫 廖燕秋 〈瀑〉



日碩造形 李依恬 〈無題〉



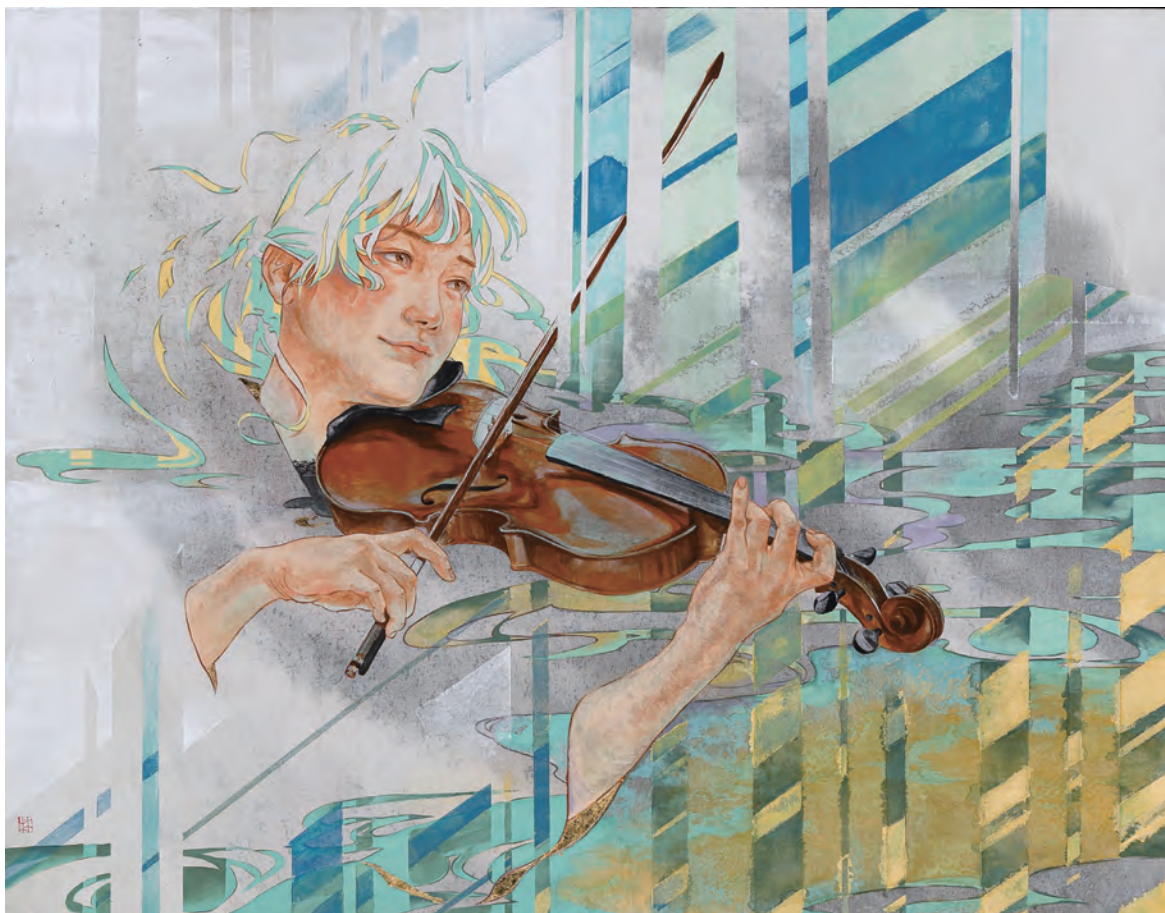
日碩書畫 簡廷宇 〈草原・夜〉



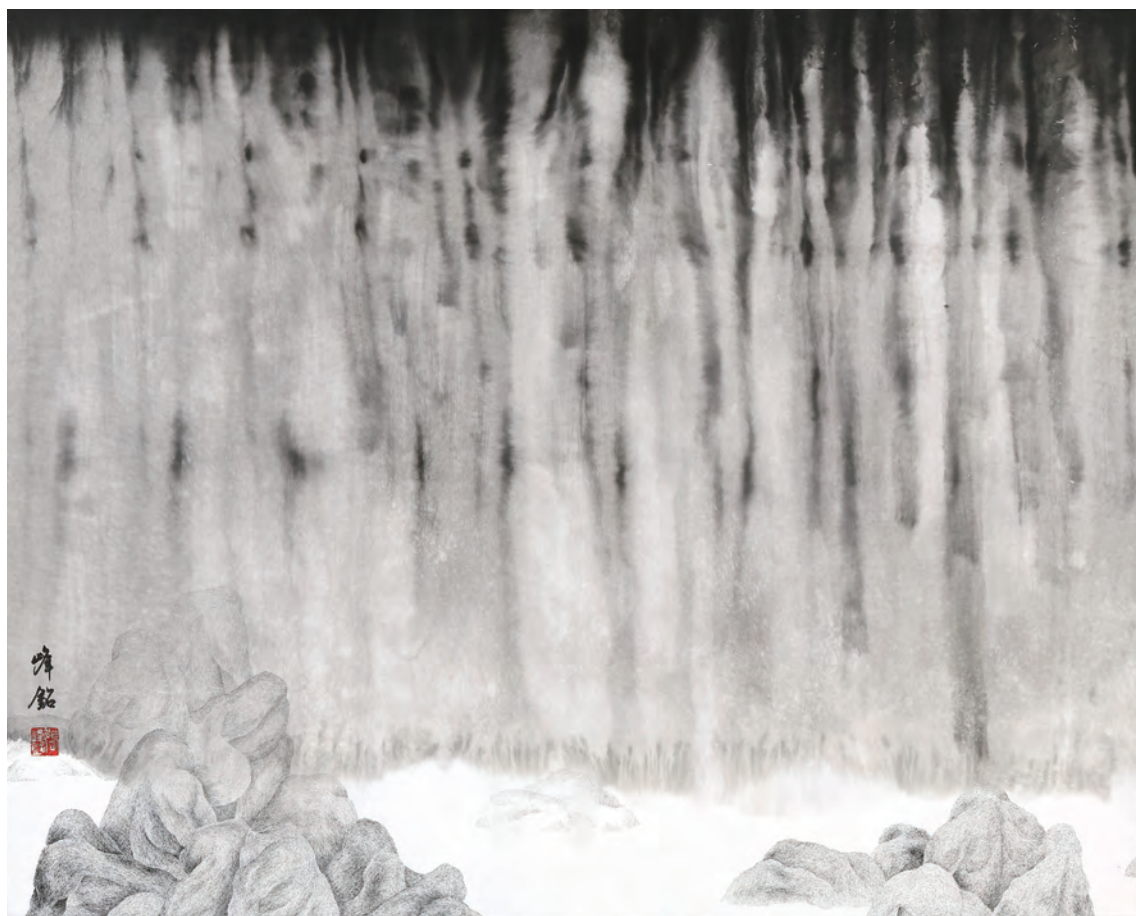
職碩書畫 劉正發 〈饑〉



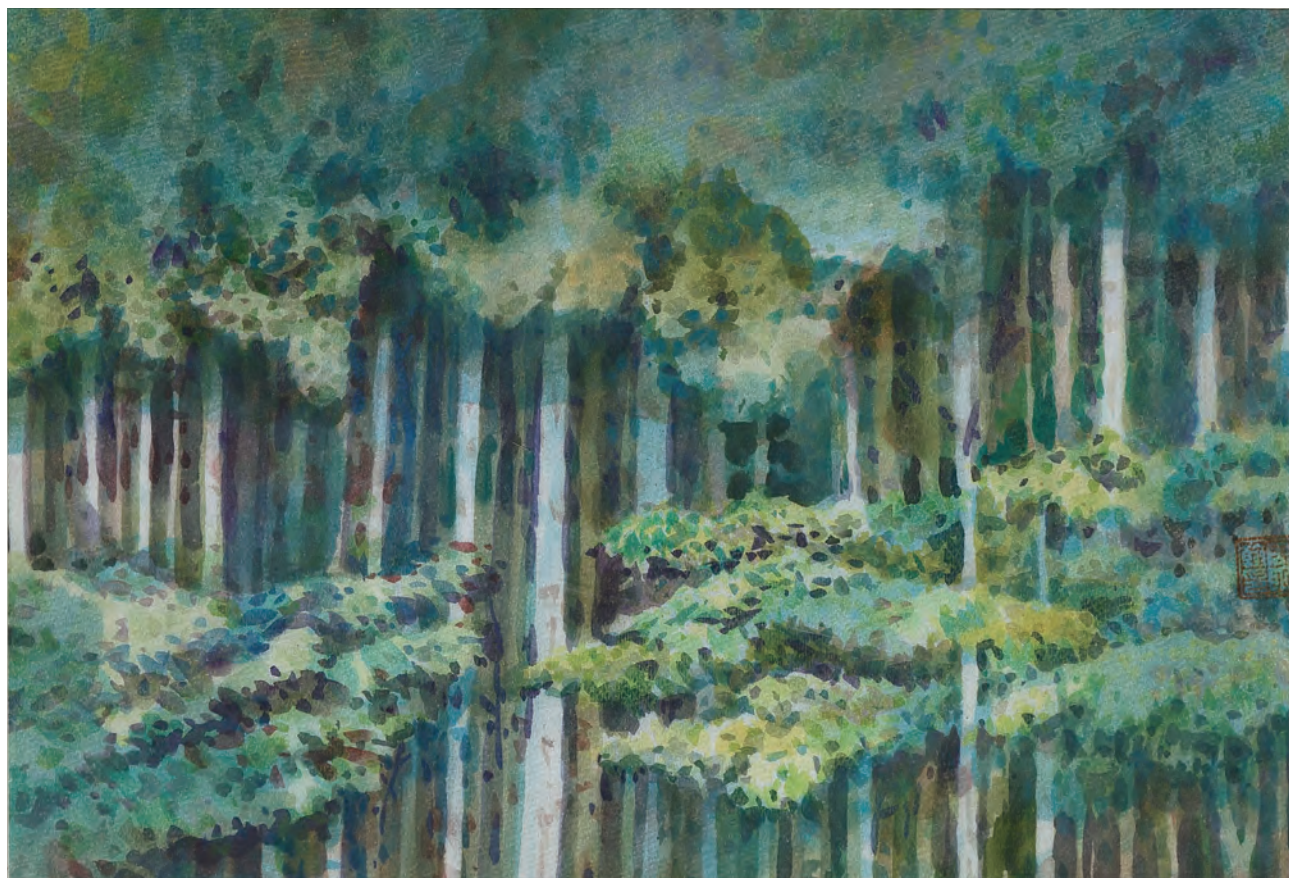
日碩書畫 郭懿嫻 〈流年〉



日碩書畫 林佳諭 〈歌〉



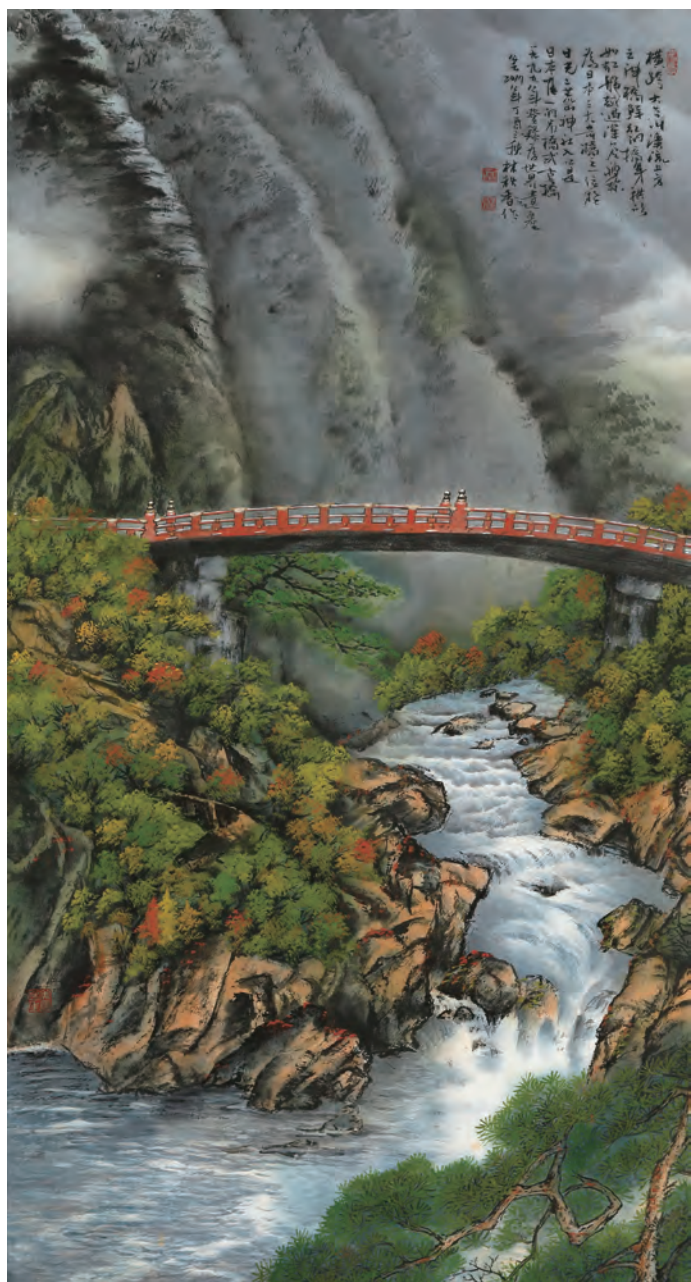
職碩書畫 張峰銘 〈淨心〉



日碩書畫 周明翰 〈翠綠〉



日碩書畫 林欣緯 〈六本木〉



職碩書畫 林秋香 〈日光神橋〉



日碩書畫 鍾享論 〈渺淼〉



日碩書畫 吳岱錦 〈1783 天明 3 年〉



日博士班 張維元 〈夜色茫茫〉

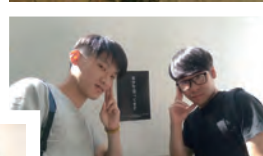


日碩造形 周謝佳錦 〈雨〉



日碩造形 林育正 〈雨に濡れた〉





## 大觀書畫 2017 年 第四十八輯

---

出 版 者：國立臺灣藝術大學美術學院書畫藝術學系

發 行 人：陳志誠

總 監：劉柏村

策 劃：李宗仁

總 編：劉素真

題 字：菅野智明

編 輯：陳重亨、林淑芬、林佳穎、賴香因、趙基任

執行編輯：趙基任、楊子逸

封面設計：彩之坊科技股份有限公司

印 刷：彩之坊科技股份有限公司

出 版：2017 年 12 月

G P N：2009504730